

「TDM 実践ハンドブック」正誤表

本書に以下の誤りがありました。

内容を訂正し、深くお詫び申し上げます。

ページ	誤	正
<p>P87 IV. 免疫抑制剤 1. シクロスポリン TDM を行う上での注意 点 ⑦相互作用 の項</p>	<p>・血中濃度が<u>低下</u>するもの：マクロライド系抗生物質，アゾール系抗真菌剤，カルシウム拮抗剤，HIV プロテアーゼ阻害剤，グレープフルーツジュースなど（CYP3A4 の競合）；メトクロプラミド（胃内容排出時間の短縮）</p> <p>・血中濃度が<u>上昇</u>するもの：フェニトイン，フェノバルビタール，カルバマゼピン，リファンピシン，セントジョーンズワートなど（CYP3A4 の誘導）</p>	<p>・血中濃度が<u>上昇</u>するもの：マクロライド系抗生物質，アゾール系抗真菌剤，カルシウム拮抗剤，HIV プロテアーゼ阻害剤，グレープフルーツジュースなど（CYP3A4 の競合）；メトクロプラミド（胃内容排出時間の短縮）</p> <p>・血中濃度が<u>低下</u>するもの：フェニトイン，フェノバルビタール，カルバマゼピン，リファンピシン，セントジョーンズワートなど（CYP3A4 の誘導）</p>
<p>P89 IV. 免疫抑制剤 2. タクロリムス TDM を行う上での注意 点 ⑦相互作用 の項</p>	<p>・血中濃度が<u>低下</u>するもの：マクロライド系抗生物質，アゾール系抗真菌剤，カルシウム拮抗剤，HIV プロテアーゼ阻害剤，グレープフルーツジュースなど（CYP3A4 の競合）</p> <p>・血中濃度が<u>上昇</u>するもの：フェニトイン，フェノバルビタール，カルバマゼピン，リファンピシン，セントジョーンズワートなど（CYP3A4 の誘導）</p>	<p>・血中濃度が<u>上昇</u>するもの：マクロライド系抗生物質，アゾール系抗真菌剤，カルシウム拮抗剤，HIV プロテアーゼ阻害剤，グレープフルーツジュースなど（CYP3A4 の競合）</p> <p>・血中濃度が<u>低下</u>するもの：フェニトイン，フェノバルビタール，カルバマゼピン，リファンピシン，セントジョーンズワートなど（CYP3A4 の誘導）</p>

※血中濃度の上昇と低下（下線部）が逆になっておりました。